

潮見台小学校・若竹小学校・桜小学校

「統合についてのアンケート調査」結果

(概要版)

平成26年5月

小樽市教育委員会

1 調査の概要

1 目的

平成 25 年 4 月に若竹小学校と統合した潮見台小学校及び桜小学校において、児童及びその保護者並びに教職員を対象に、統合に伴う児童の様子の変化や学校内の活性化の状況について調査を行い、統合による効果や課題を把握し、今後の学校再編を進めるうえでの参考とする。

潮見台小学校については、平成 24 年 4 月に量徳小学校と統合しており、2 年連続の統合における状況の変化の違いや課題なども把握する。

2 対象者

(1) 潮見台小学校及び桜小学校に在籍する 2 年生から 6 年生までの児童

潮見台小学校	242 人	回答数	237 人、回答率	97.9%
桜小学校	400 人	回答数	347 人、回答率	86.8%

(2) (1)の保護者

潮見台小学校	198 人	回答数	145 人、回答率	73.2%
桜小学校	331 人	回答数	213 人、回答率	64.4%

(3) 潮見台小学校及び桜小学校に勤務する教職員(校長及び教頭を含む)

潮見台小学校	23 人	回答数	23 人、回答率	100%
桜小学校	27 人	回答数	26 人、回答率	96.3%

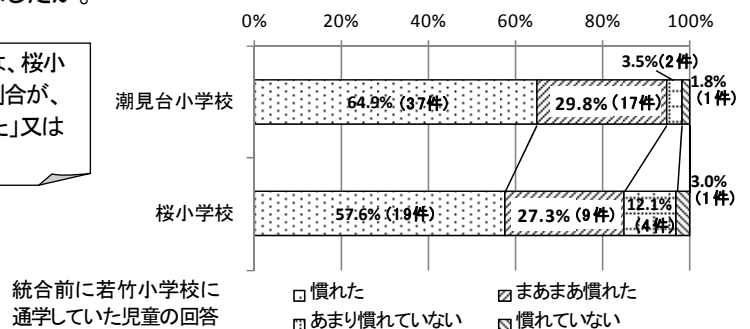
3 調査時期

平成 26 年 3 月

2 児童へのアンケートの結果

質問 4 新しい潮見台小学校(桜小学校)には慣れましたか。

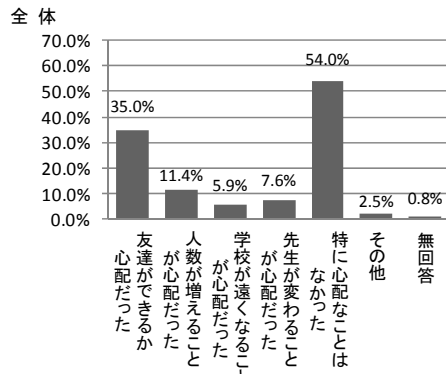
統合前に若竹小学校に通学していた児童については、桜小学校に通学する児童で、「あまり慣れていない」とする割合が、若干高くなっているものの、両校とも 8 割以上が「慣れた」又は「まあまあ慣れた」と回答している。



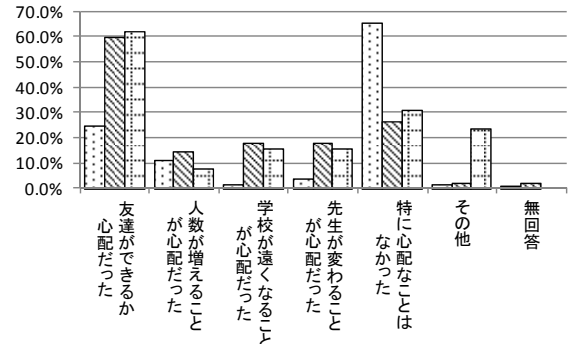
質問 5 昨年 4 月に若竹小学校と潮見台小学校(桜小学校)がいっしょになりましたが、いっしょになる前に心配なことがありましたか。(複数回答)

両校ともに、半数以上の児童が「特に心配なことはなかった」と回答しており、心配なことでは「友達ができるか」が最も多い回答となっている。統合前に潮見台小学校又は桜小学校に通学していた児童は、半数以上が「特に心配なことはなかった」と回答しているのに対し、若竹小学校に通学していた児童は、2 割強の児童が「特に心配なことはなかった」と回答しているものの、「半数以上が「友達ができるか心配だった」と回答し、「学校が遠くなるのが心配だった」などと回答している。

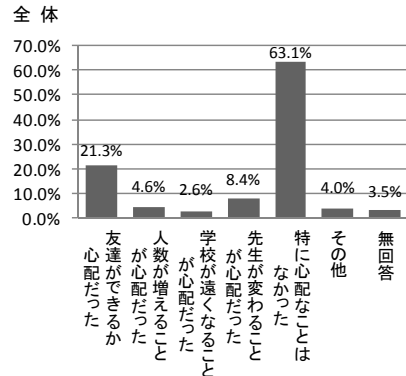
潮見台小学校



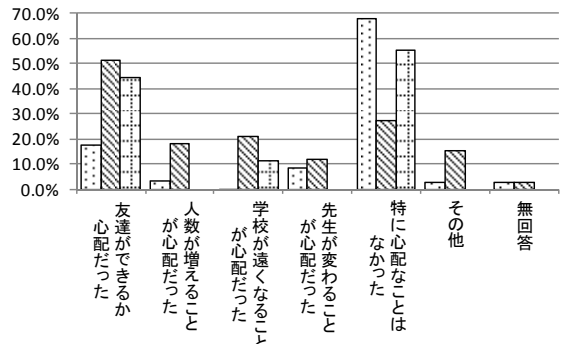
統合前に通学していた学校による区分



桜小学校



統合前に通学していた学校による区分



【その他心配だったことの内容】

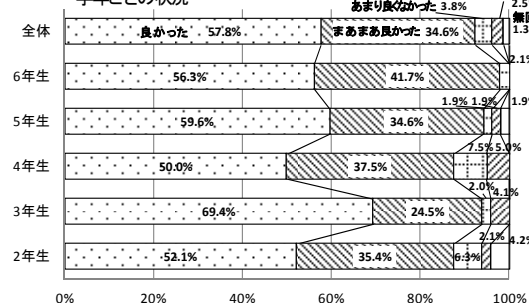
- ・ 若竹小学校から来た人と仲良くできるか心配だった。
- ・ 友だちができなかったら、遊べないから。前は近かったけど、今は少し遠くなった。
- ・ クラス替えて仲が良い人と(同じクラスに)になれるか、心配だった。
- ・ いじめられないか心配だった。
- ・ 学校になれるか心配だった。

注いづれも、回答者数全体に占める回答件数の割合で表示

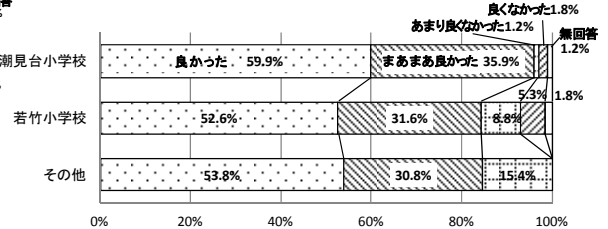
質問 6 若竹小学校と潮見台小学校(桜小学校)がいっしょになって、児童の人数が増えましたが、そのことについてどう思いますか。

両校ともに、9割以上の児童が「良かった」又は「まあまあ良かった」と回答している。
 統合前に若竹小学校に通学していた児童では、潮見台小学校又は桜小学校に通学していた児童に比べ、「あまり良くなかった」又は「良くなかった」とする回答の割合が高いが、統合により仲の良かった友達と別の学校へ通学することとなったり、同じ学校であっても別クラスになったことなどが影響しているものと推測される。

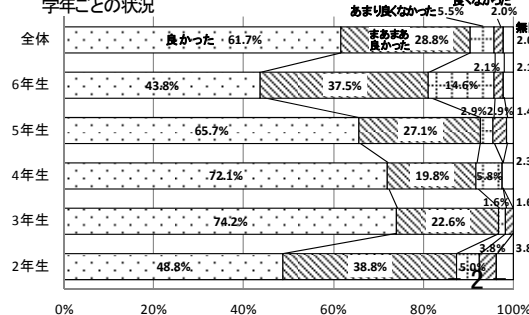
潮見台小学校



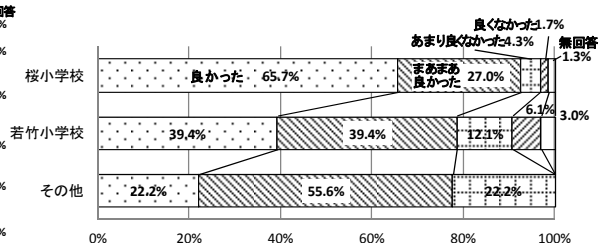
統合前に通学していた学校による区分



桜小学校



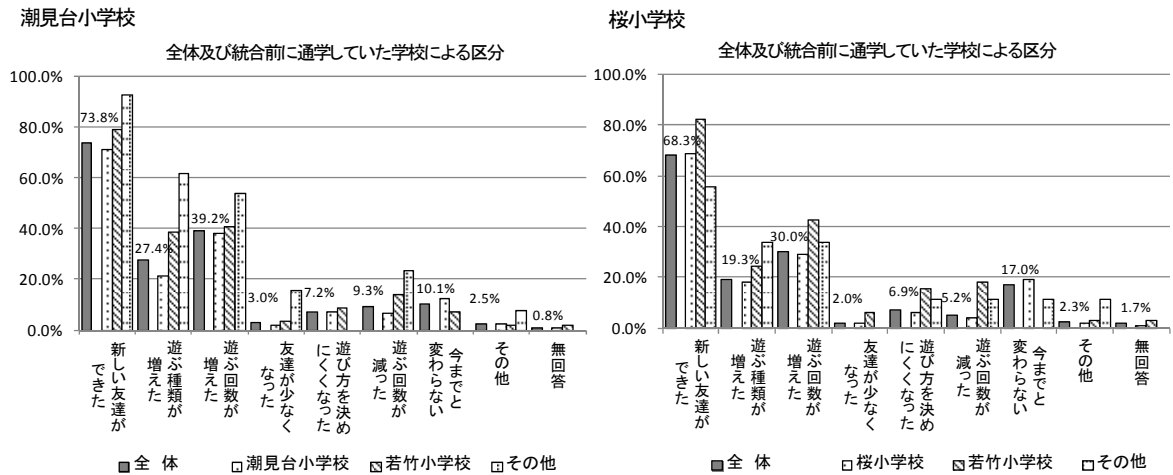
統合前に通学していた学校による区分



質問7 人数が増えたことで、友達や遊ぶことについて変わったことはありますか。(複数回答)

両校ともに、「新しい友達ができた」とする回答が他を大きく上回っており、次いで「遊ぶ回数が増えた」、「遊ぶ種類が増えた」の順となっている。

統合前に通学していた学校の区分で見ると、「新しい友達ができた」などと回答した児童の割合は、若竹小学校に通学していた児童の方が、潮見台小学校又は桜小学校に通学していた児童より高くなっており、より多くの児童と接することで、交友関係が広がったものと推測される。



注)いずれも、回答者数全体に占める回答件数の割合で表示

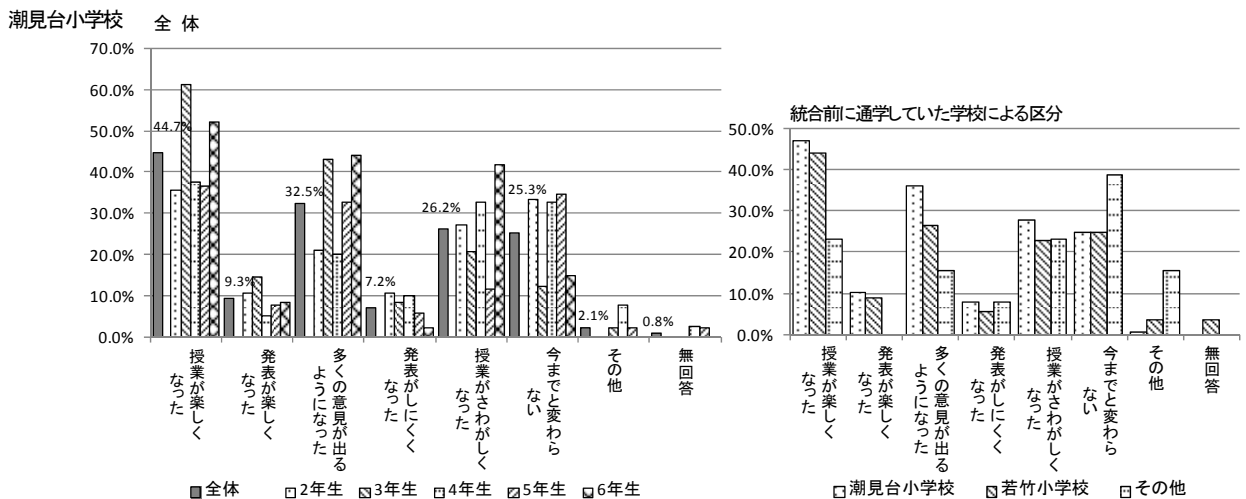
【その他変わったことの内容】

- ・ 若竹小学校から来た人と遊ぶようになった。
- ・ 若竹小学校だった友だちができたわけではなく、新しいクラスで、前ちがうクラスだった子と友だちになれた。
- ・ 友だちという時間が長くなった。
- ・ 遊ぶ約束が、しにくくなった。(友だちを誘っても、ほかの人と遊ぶからという回数が増えた)
- ・ ケンカが多くなった。

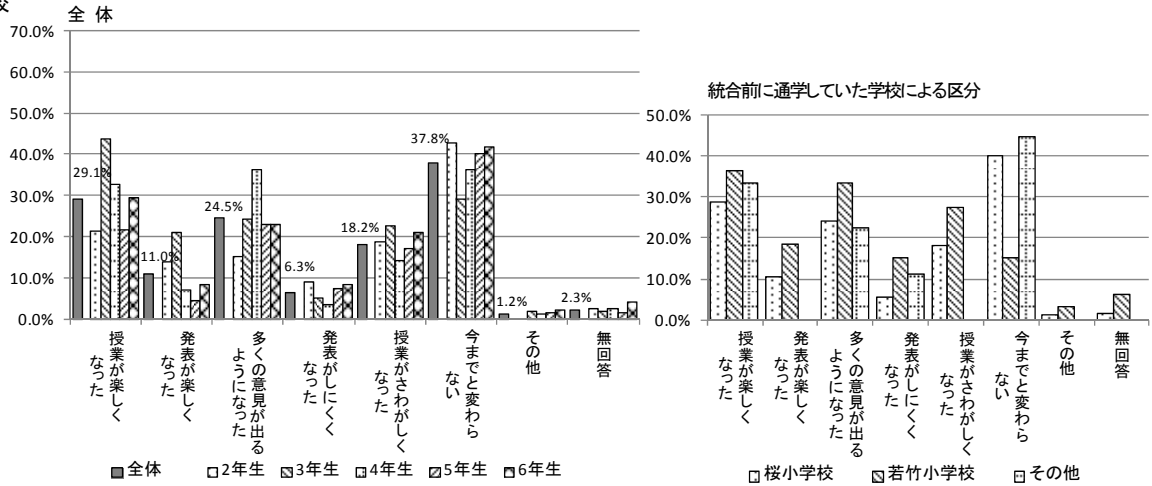
質問8 若竹小学校と潮見台小学校(桜小学校)が一緒になって、授業の様子は変わりましたか。(複数回答)

潮見台小学校では、「授業が楽しくなった」とする回答が最も多く、次いで「多くの意見が出るようになった」の順となっており、統合前に若竹小学校に通学していた児童についても、同じ傾向となっている。

桜小学校では、統合前に若竹小学校に通学していた児童の回答は、「授業が楽しくなった」が最も多く、次いで「多くの意見が出るようになった」となっているのに対し、桜小学校に通学していた児童の回答では、「今までと変わらない」とする回答が最も多くなっており、統合により学級が増えた学年が1学年のみであったため、全学年でクラス替えはあったものの、児童が統合前との変化をそれほど感じていないものと推測される。



桜小学校



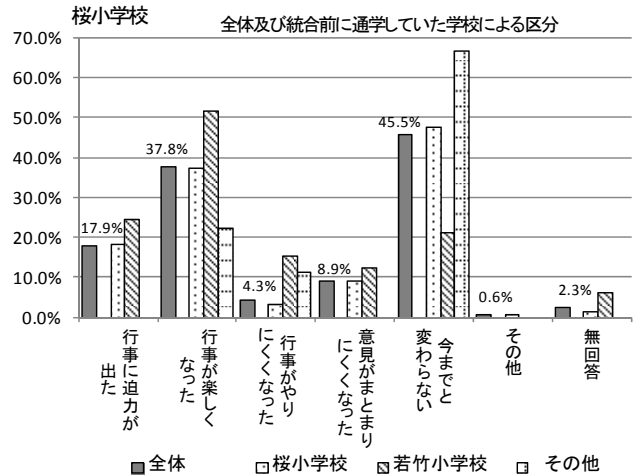
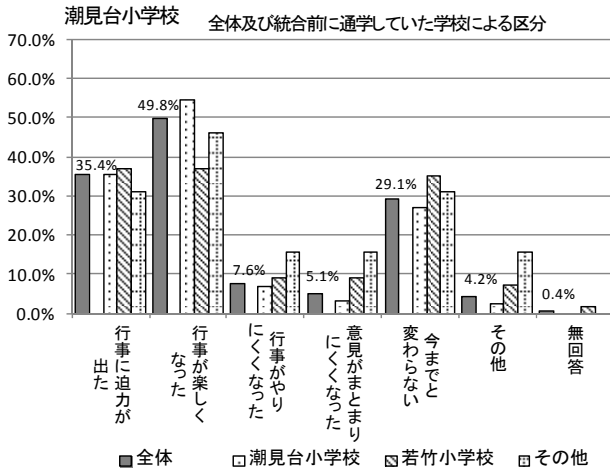
【その他変わったことの内容】

注)いずれも、回答者数全体に占める回答件数の割合で表示

- ・ 担任の先生が変わった事で、前より楽しかった。
- ・ 発表する時、人数が多くなったから、発表しにくくなった。
- ・ すごく変わらないことではないけれど、そんなに変わらなかった。

質問 9 若竹小学校と潮見台小学校(桜小学校)がいっしょになって、運動会、学芸会など行事の様子は変わりましたか。(複数回答)

潮見台小学校では、「行事が楽しくなった」とする回答が最も多く、次いで「行事に迫力が出了」となっており、今回の統合でほぼ全学年が複数学級となったことが影響しているものと推測される。
 桜小学校では、「今までと変わらない」とする回答が最も多くなっているが、統合により学級が増えた学年が1学年のみであったこともあり、統合前との違いをそれほど感じなかったのではないかと推測される。統合前に若竹小学校に通学していた児童の回答では、「行事が楽しくなった」又は「行事に迫力が出了」との回答が多くなっており、統合前と比べ行事の規模が大きくなったこと、また運動会の団体種目ではクラス単位でチームを作れたことなど、違いを感じたものと推測される。



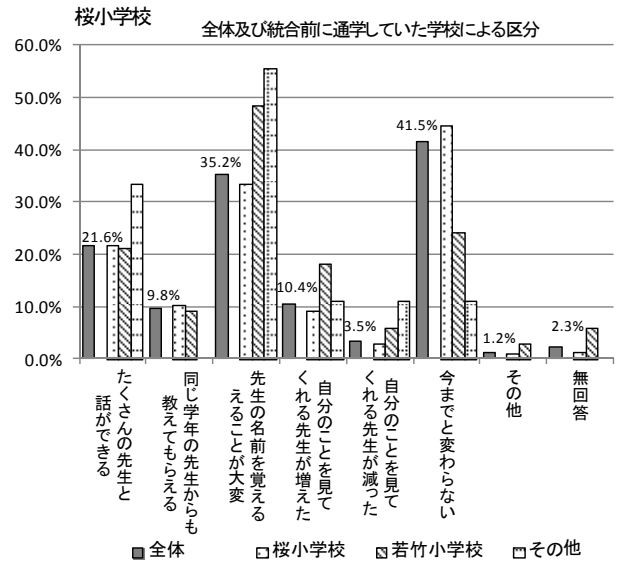
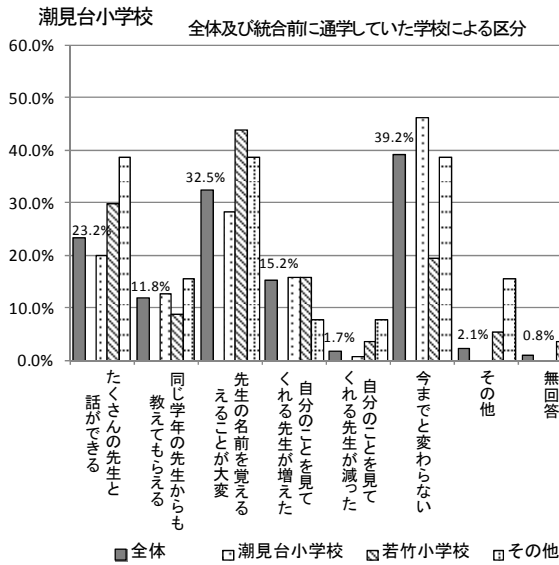
【その他変わったことの内容】

注)いずれも、回答者数全体に占める回答件数の割合で表示

- ・ 運動会や学芸会などが楽しくなった。
- ・ 行事がわかりやすくなった。
- ・ 学芸会で人数が増えたから、出番が減った。
- ・ 「若竹まつり」みたいなまつりをやりたかった。

質問 10 若竹小学校と潮見台小学校(桜小学校)がいっしょになり、先生が増えたと感じる人もいますが、先生のこと、変わったと思うことがありますか。(複数回答)

両校ともに、「今までと変わらない」とする回答が最も多く、次いで「先生の名前を覚えることが大変」、「たくさんの先生と話ができる」の順となっている。統合前に若竹小学校に通学していた児童については、いずれの学校においても、潮見台小学校又は桜小学校に通学していた児童に比べ、「今までと変わらない」とする回答の割合が少なく、「先生の名前を覚えるのが大変」、「たくさんの先生と話ができる」及び「自分のことを見てくれる先生が増えた」とする回答の割合が多くなっており、教職員が増え、教職員と接する機会が増えたことを感じているものと推測される。



注)いずれも、回答者数全体に占める回答件数の割合で表示

【その他変わったことの内容】

- ・ TTの先生がいるから、みんなが進んでいる時でも、わからない問題が聞ける。
- ・ 先生が前よりやさしくなった。
- ・ 新しい先生が増えると、みんな覚えるのが大変だし、話せない。(新しい先生と)
- ・ 先生がいなくなって、めんどろをよく見てくれた人がいなくなった。

質問 11 若竹小学校と潮見台小学校(桜小学校)がいっしょになって、学校までの距離は遠くなりましたか。

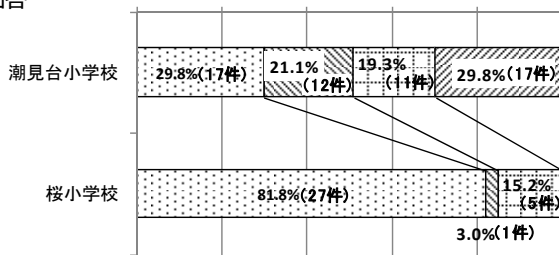
質問 11-2 遠くなったことについて、どのように思っていますか。

(質問 11 で「遠くなった」と回答した児童のみ、複数回答)

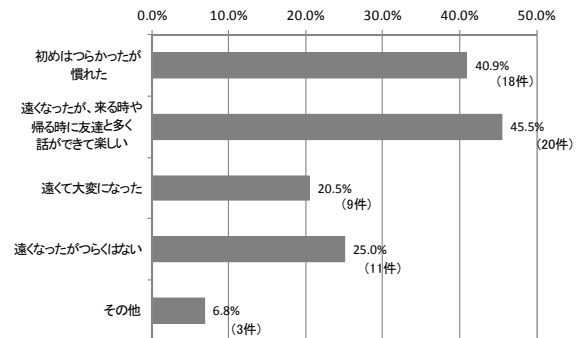
統合前若竹小学校に通学していた児童については、潮見台小学校へ通学する児童で3割の児童が、桜小学校に通学する児童で8割の児童が、学校が「遠くなった」と回答している。

「遠くなった」児童について、どのように思っているかとの質問に対しては、4割以上の児童が「遠くなったが、来る時や帰る時に友達と話ができて楽しい」「初めはつらかったが慣れた」と回答する一方、「遠くて大変になった」とする回答は2割となっている。

統合前に若竹小学校に通学していた児童の回答



学校までの距離が遠くなって



【学校までの距離が遠くなって(主な内容)】

- ・ いろいろ行き帰りの道があつてうれしい。
- ・ たまあに、つまらない。
- ・ 若竹小学校は坂道だったから、潮見台小学校になって楽になった。

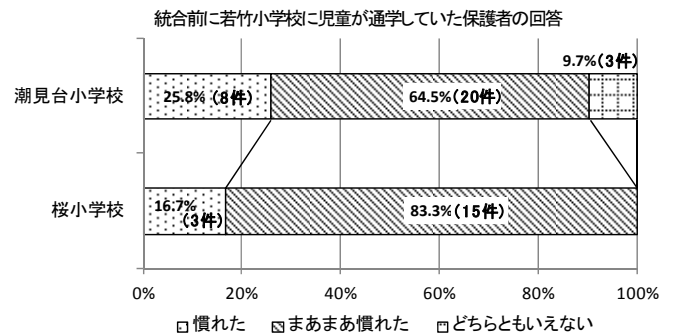
質問 12 新しい潮見台小学校(桜小学校)になって、良くなったことや悪くなったことがあれば自由に書いてください。
(主なもの)

- ・ 友達がいっぱい増え、親友もできました。わたしは、友だちとけんかも増えました。でも友だちがいっぱいできました。
- ・ 若竹小学校の人が増えて、ちょっといやな時もあるけど、おもしろい事や楽しい事が増えた。
- ・ 友だちが増えて、遊ぶ回数が増えて良かった。体育館で遊ぶ時、どのおにごっこをするか、なかなか決まらなくなった。
- ・ 良くなったことは、友だちが増えた。高学年や低学年と、あまり遊べなくなった。若竹の友だちと会う回数が少なくなった。
- ・ まちがえているところを、みんなが教えてくれる。
- ・ 全校児童が増え、にぎやかになって楽しかった。
- ・ 若竹小学校より人数が増えて良かった。でも若竹小学校だと人数が少なくて、体育館でケガをする人があまりいなくて、安心する。
- ・ 若竹小学校には算数の TT の先生がいなかったけど、この学校は TT の先生がいるので、良くなったと思います。
- ・ 人数が増えたことで、トラブルが多くなった。友だちのことで呼び出され、誤解されることが多くなっていやだ。
- ・ 行事が前よりも楽しくなった。授業でたくさん意見が出るようになった。
- ・ 5年生までいい先生&いいクラスメイトだったのに、若竹と統合になったせいで、クラスも先生も変わったし、親友とも離れて仲良い友だちがいなくなった。統合はいいけど、クラス替えをやめてほしかった。
- ・ 学校がきれいになったから良かったと思う。
- ・ 私は、人数が多くて教室がせまくなったので、3組にしてほしかったです。
- ・ 体育館で遊べる回数がへった。
- ・ 先生のいない場所で、いじわるする人がいたりする。
- ・ 統合した学校の行事を取り入れてほしい。
- ・ 今までと変わらないです。

3 保護者へのアンケートの結果

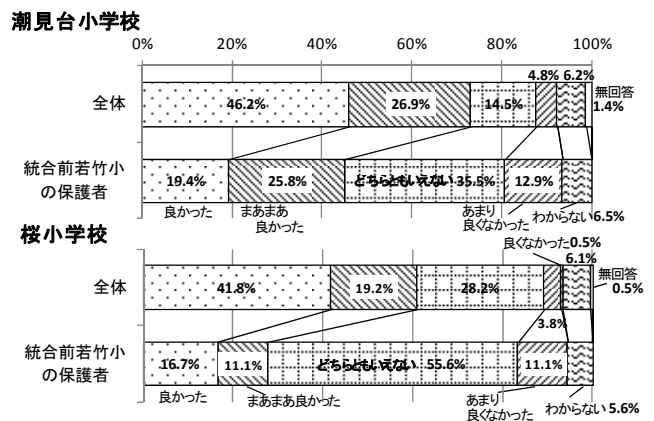
質問 4 お子さんは潮見台小学校(桜小学校)には慣れたように感じますか。

統合前に若竹小学校に通学していた児童の保護者について見ると、両校ともに9割以上が「慣れた」又は「まあまあ慣れた」と回答しており、「あまり慣れていない」又は「慣れていない」とする回答は見られない。



質問 5 統合で児童数が増えましたが、そのことについてどのように思っていますか。

両校とも、6~7割の保護者が、「良かった」又は「まあまあ良かった」と回答しているが、統合前に若竹小学校に通学していた子どもの保護者については、両校とも「どちらともいえない」とする回答が最も多くなっている。

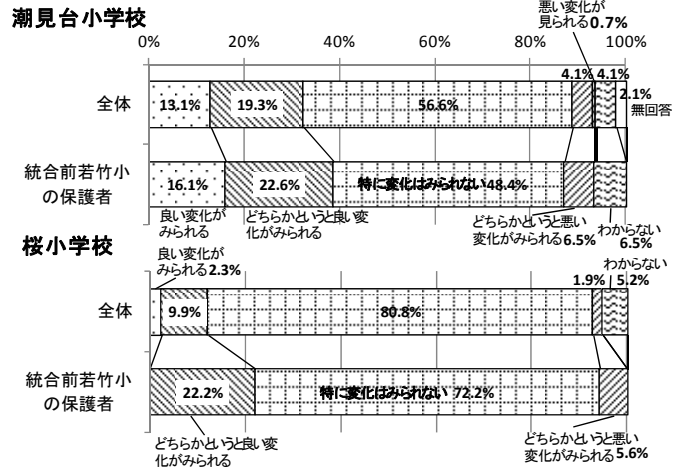


質問6 統合以降、お子さんの学習への意欲に変化はみられますか。

潮見台小学校では3割強の保護者が、「良い変化がみられる」又は「どちらかという良い変化がみられる」と回答しているのに対し、桜小学校では、これらの回答が1割にとどまる一方、「特に変化は見られない」とする回答が8割に達している。統合前に若竹小学校に通学していた児童の保護者については、いずれの学校においても、「良い変化がみられる」又は「どちらかという良い変化がみられる」とする回答の割合が、潮見台小学校又は桜小学校に通学していた児童の保護者の回答を上回っている。

【変化についての具体的な記述(主なもの)】

- 音楽祭や卒業式で演奏したい楽器をやるためにオーディションを受けるといったことは、若竹小ではなかったので、良かったと思います。英語の授業に力を入れているので、とても楽しく取り組んでいると思います。
- クラスの人数は増えたけれども、担任の先生が、一生懸命やってくれています。一人一人のいいところを伸ばしてくれて、苦手なところも改善しようと、いろいろ考えてくれました。
- 今のところ、どこに行っても、子どもはそのままなので、特に統合によって何かということは、親も子どもあまり気にしていない。
- 以前若竹小学校に通学していた時は、放課後学習がほぼ毎日あり、とても楽しみに毎日していました。自由参加ではありましたが、それが毎日の日課であり、○をつけてくれたプリントを持って帰宅し、いつもニコニコしていたので、とても残念です。本人もがっかりしています。
- 担任の先生が替わってから、自分から音読をしようとしなくなりました。

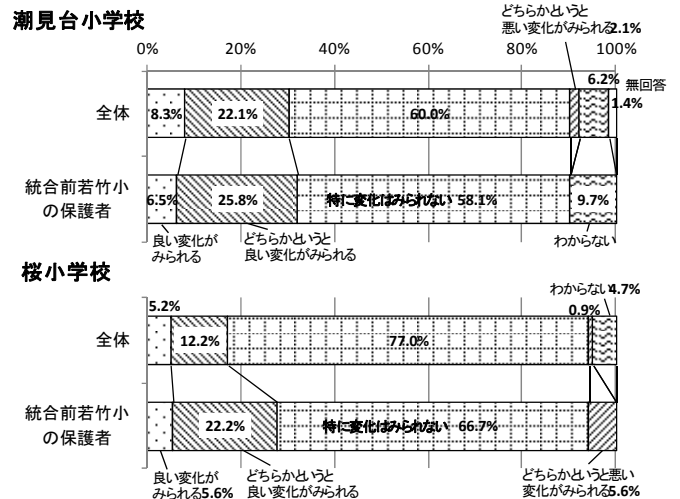


質問7 統合以降、運動会や学芸会といった学校行事について、お子さんに変化はみられましたか。

回答は、質問6と同様の傾向が見られる。競争心の芽生えや運動会に活気が出たという回答がある一方で、学芸会では一人一人の出番が少なくなったという回答が寄せられている。

【変化についての具体的な記述(主なもの)】

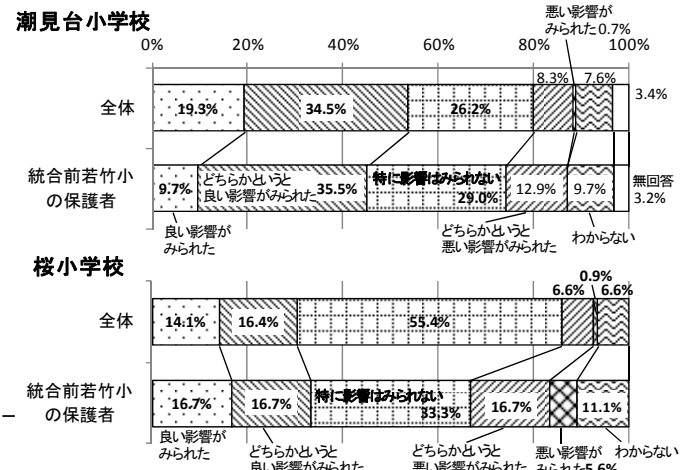
- 人数が多いと活気がある。
- クラス(組)対抗の運動会は、今までと違う競争心というか、とても意欲的に頑張っていたと思います。
- 統合前には、特に言ったりしなかったけど、おもしろかったとか次は負けたくないなど、気持ちの変化を感じました。親から見ても、人数が増えて運動会がおもしろかったです。
- 子どもの変化は大きくなかった。でも学芸会では、一人一人の出番が少なく、少しさびしかった。
- 変化ではありませんが、この学校では当然知っている事でも若竹小からの子は知りません。(例-音楽室に行ってくださいとか。)そういうオリエンテーションみたいなのがあっても良かったのではないかと。最初のうちは、「どうせオレわからないし」とちょっとイジケ気味でした。



質問8 統合によって、お子さんの人間関係(友人関係)に影響がみられましたか。

潮見台小学校では半数以上の保護者が、桜小学校でも3割を超える保護者が、「良い影響がみられた」又は「どちらかという良い影響がみられた」と回答している半面、両校とも「どちらかという悪い影響がみられた」とする回答が1割弱見られる。

これは潮見台小学校では、1学年を除き2学級編制となり、桜小学校では全学年でクラス替えを行ったため、統合前に若竹小学校に通学していた児童が、統合校で仲の良かった児童と同じクラスになれなかったり、統合前に潮見台小学校又は桜小学校に通学していた児童についても、クラス替えにより仲の良かった児童と別のクラスになったことが影響しているものと推測される。



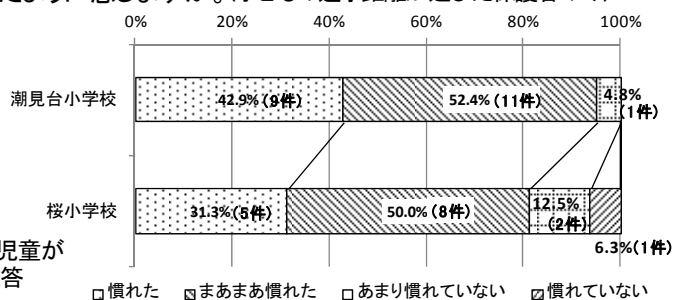
【影響についての具体的な記述(主なもの)】

- ・ 若竹小の頃は、女の子が3人しかいなかったので、限られた交友関係しか築けなかったが、今はたくさんの友だちと遊ぶことができている。
- ・ 自宅が若竹に近いので、近所に友だちがたくさん増え、登下校仲間も増え大変良かったです。中でも特に仲良くなれた子どもさん(若竹からの)もいて、お互い刺激し合える親友ができ、これからの将来にも良い影響が必ずあるように思い、嬉しく思います。
- ・ 1クラスの時よりお友だちが増えて、いつも決まった子ではなく、いろいろな子と遊ぶようになりました。
- ・ 友だちが増え、若竹のお祭りなどに出向き、楽しい思い出を作っていると思われたから。
- ・ 善悪両方あると思います。新しいお友だちができ、たくさんの仲間がいるという良い面と背中合わせに、人数が増えると”いじめ”の様な思いを経験した子もいる様です。若竹小では5年間平和で平穏な友だち関係で過ごしていたため、なおさら感じました。
- ・ 2年生になった時にクラス替えがあり、統合により、またリセットされたので、当初は、なかなかなじめないようでした。
- ・ クラスの人数が増えたので、いろいろな子と関わるようになり、中には少し嫌なことを言ったり、したりする子との関わりがあるようです。子どもはグチを言うものの悩んでもいないようなので、先生が良く見ていてくれるのではと思う。でもこれが統合のためかどうかは、わからない。年齢的なものかもしれないし、たまたまそういう子たちがいるからかもしれないし。

質問9 通学距離が延びたことについて、お子さんは慣れたように感じますか。(子どもの通学距離が延びた保護者のみ)

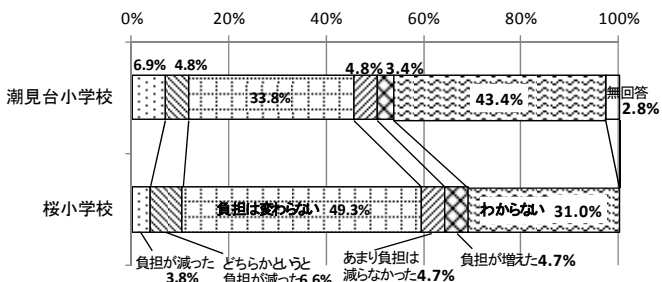
統合前に若竹小学校に通学していた児童の保護者について見ると、両校とも8割以上の保護者が、「慣れた」又は「まあまあ慣れた」と回答しており、桜小学校で「あまり慣れていない」又は「慣れていない」とする回答の割合が若干多いが、回答数としては3件にとどまっている。

統合前に若竹小学校に児童が通学していた保護者の回答



質問10 統合で保護者の方も増えましたが、統合によりPTA活動など保護者活動の負担について変化はありましたか。

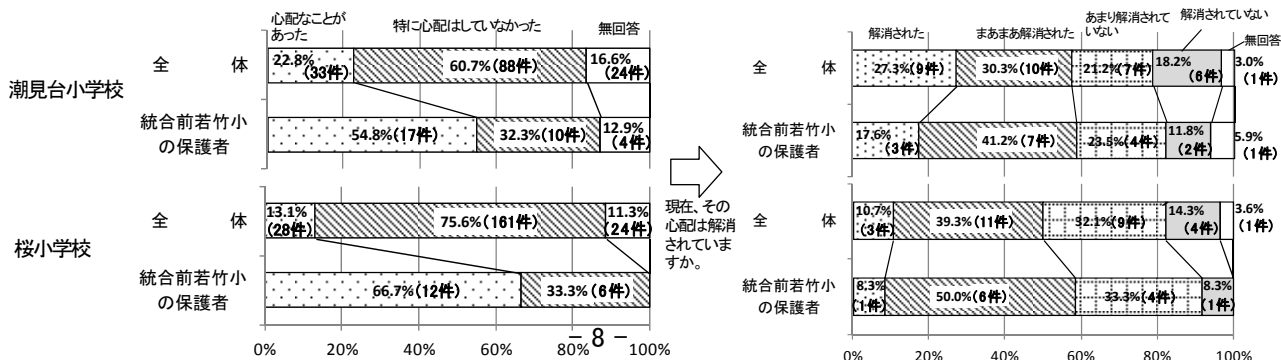
両校ともに「負担は変わらない」又は「わからない」とする回答が多く、「まあまあ負担が減った」を含め「負担が減った」とする回答と、「あまり負担は減らなかった」を含め「負担が増えた」とする回答が、ほぼ同じ割合となっており、新たに役割を担ったり、これまでの役割が終了するといった、それぞれの保護者における負担の変化が、回答に影響しているものと推測される。



質問11 統合前に、心配されていたことはありましたか。

質問12 現在、その心配は解消されていますか。(質問11で、「心配なことがあった」と回答した保護者のみ)

統合前に若竹小学校に通学していた保護者が、両校ともに半数以上が「心配なことがあった」と回答している一方、統合前に潮見台小学校又は桜小学校に通学していた児童の保護者の7割以上が「特に心配はしていなかった」と回答しており、対照的な結果となっている。
 心配なこととしては、新たな友人関係を築けるか、新しい環境になじめるか及び通学路の安全面での不安などが挙げられている。
 両校合わせ「心配なことがあった」とする回答61件のうち、「解消された」又は「まあまあ解消された」とする回答が33件、「あまり解消されていない」又は「解消されていない」とする回答が26件と、ともにほぼ半数となっている。



現在、その心配は解消されていますか。

【心配していたことの内容】

- ・ 子ども達が仲良くなれるか心配していた。
- ・ 新しい学校、環境、友だちになじめるか。
- ・ 通学路の安全について。交通量の多い横断歩道に信号機がない。除雪がされず、通路が無い所がある。
- ・ いじめが生じないか。
- ・ クラス替えが1年ごとにあり、友人関係や担任の先生が変わる環境の変化。
- ・ 仲の良い子と離れる事。結果仲の良い子とは、逆に離された。
- ・ 4年生が1クラスになるか2クラスになるか、わからずに統合になったこと。
- ・ 子ども自体よりも親の交流の風通しが良くない。もっと歓迎ムードを持ってあげられたらいいと思う。

質問 13 小樽市教育委員会では、新しい学校づくりを念頭に学校再編を進めています。学校再編や今回の統合についてご意見などございましたら、ご自由にお書きください。(主なもの)

- ・ 人数が増える事で出会いも増え、また嫌な思いをする事があっても、痛い思いをする事、感じる事も増えると思うので、私は良かったと思っています。
- ・ 子どもの数が減っているの、再編は仕方がない。心配事は子どもの性格によって違うので、その状況になってからの事だと思ふ。どこの学校でも、子どもにとって良い事や悪い事はあるので、子どもがゆっくりとなれて行くのを見守るしかないと思ふ。
- ・ 少ない人数の学校を統合するのは良いが、人数の多い学校をさらに多くする必要はないと思ふ。新しい学校づくりといつても、前と変わっていないし、勉強の面でも、もう少し特色のあることを考えてください。他の学校は少ないためか、いろいろなことに取り組んでいるように感じます。
- ・ 統合して生徒が増えると、今以上に先生の指導する力や、まとめる力、広い視野が必要となり、自分よがりの指導や、問題をすりかえる対応がなされないように、しっかりと子どもの声に耳を傾けてください。
- ・ スクールカウンセラーを、子ども達にとってもっと身近な存在として、学校にいてほしいです。(週1で来校とか…)
- ・ 学校行事について、新しい学校での違いを質問しても、担任の先生も新しく来たばかりの先生で、わからないということがあったり、必要な学用品についても、前の学校と違い新たに購入しなくてはならないのかと質問する機会が多く(結局購入しなかったが)、もう少し前の学校のことを知っている先生を新しい学校に配置すべき。1学校に1人は少なすぎる。異動は最小限にしてほしい。
- ・ 統合人数が少なくても、1年→2年進級時のクラス替えがあり、子どもはとまどっていたようだ。子どもにとっても大人にとっても、クラス替え、転入、転出はストレスの大きい事なので、必要な変化が「なぜ行われなくてはいけないのか」を共有するために説明を重ねていき、同意を得る工夫が必要と感じました。
- ・ 統合後1学級の児童数が増加して、1クラスの人数がギリギリいっぱいまで増えました。高学年は体が大きくなりますし、精神的にも色々抱える事が多くなります。統合により担任も変わり落ち着かない1年でした。せめて1クラスの人数が少なくならなかったのかと、もう少し考えてほしかったです。
- ・ 校区が広いため、友人の家に遊びに行く等で遠出することが増えた。たくさんの友人ができる事は喜ばしいが、目が行き届かなくなる。これ以上の校区の広がりは望まない。
- ・ 今回初めての統合という経験は、あまりにも大きな出来事でした。子どもも精神的に少し落ち込んだりもしましたし、その中で「学校に行きたくない」と言われなかったことだけが、せめてもの救いでした。簡単に「統合」と言っている訳ではないと頭では思っているが、保護者、子どもにこれだけの負担があったのかと思うと、これから統合をむかえる方々が心配です。教育委員会の方々にも、このプリントでもあったように「慣れた」ではなく「慣れざるをえなかった」ということを知っていただきたいです。後は、この経験を良しとして未来につながってほしいと子どもには思ふ。それと、統合前の交流をもっと多くしていただけたらと思ふ。1年のうち2回程では少なすぎます。
- ・ 子どもは統合前から交流がありますが、親の交流は…。6年生のお母さんとは、顔が分からないまま卒業です。
- ・ 予算もあると思ふが、統合により今までと違う学校へ通う子に対する配慮として、少しでも環境を良く(新しいもの)にし、整える事は大事。
- ・ 少子化で学校が少なくなるのは仕方のない事だが、昔より通学距離が増え、子どもたちは大変だ。安全な通学路、除雪など、もっと考えるべきと思ふ。子どもたちのことを一番に考えてほしい。
- ・ 通学路については、親は不安です。(安全面、交通環境が悪い)受け入れ校が、もっと歓迎感を持ってほしい。子どもの方が、ぶつかりながらも真っ直ぐやっていると。大人も学校と関わり、一体化とまでいかななくても、歩み寄り、協力、共感する姿勢を持ってほしいと思ふ。
- ・ たくさんの友人ができる喜びのある統合や、クラス替えは賛成ですが、その分人間関係が広く浅くなっている気がします。低学年からのクラブ活動や、友人や先生方との関係を深くできる取組があれば、と望みます。
- ・ 運動会など場所の広さは変わらないのに、父兄の人数が多くて、すごく窮屈な感じがした。
- ・ 教育委員会の人は、統合が決まるまでがんばるのではなく、統合後も細かいケアをしてほしい。やったらやりっぱなしではなく、一緒にバスに乗ったり、通学路を歩いてみてほしい。先生方からもいろいろ聞いてほしい。今の2年生が中学に入るまでは、気を配ってほしいと願う。

4 教職員へのアンケートの結果

質問2 若竹小学校との統合から1年が経とうとしていますが、統合前や統合当初と比べ、児童の様子に変化はありましたか。統合校への慣れ、友人関係、授業や学校行事における様子などの観点から、良い点や課題と思われる点をお答えください。

(潮見台小学校のみ)

また、量徳小学校との統合時との比較が可能であれば、同じ観点からお答えください。(主なもの)

「統合校への慣れ」については、1学期のうちは戸惑いなどが見られ、学年が上がるにつれその傾向が強かったとの回答が見られる。同時に遠足や運動会などの行事を通して、一体感が形成されていった様子がうかがえる。潮見台小学校は、2年連続で統合となったことから、学級編制や担任の交替などの面で、児童へのストレスが大きかったのではないかと回答が寄せられている。

「友人関係」についても、1学期中は統合前の学校でまとまる傾向も見られたとの回答もあるが、友人関係が広がり、友達が増えて楽しそうにしているとの回答が多く見られる。

「授業や学校行事における様子」については、互いの良い点が刺激となっているとの回答が見られるが、学校行事については、統合校のこれまでの進め方が中心となったことから、統合前に若竹小学校に通学していた児童に戸惑いが見られるとの回答も寄せられている。

また、校区が広がったことで児童の行動範囲が広くなり、下校後の安全を心配する意見も寄せられている。

観 点	回 答
統合校への慣れ	<ul style="list-style-type: none"> 施設にはすぐに慣れ、遠足、運動会の行事を通して、学校としての一体感が形成されたものと考え。 学年が上がるにつれ戸惑いがみられたが、中学年としては(学級編制もあったので)特別目に留まることがなかったように思う。自分達の学校ではないという気持ちからか「若竹ではね…」ということが多かったが、そのたびに話を聞いたり肯定することで、「若竹が…」ということは、あまりなくなった(もちろん「若竹」という言葉を出したら悪いということではありません)。 学校の児童数が増えて、初めはとまどいもあったと思うが、校舎や学級にも慣れて、落ち着いて過ごしているように思う。 思ったよりは早く慣れたようですが、やはり数人の子は、親から「朝行きたがらない」などの相談を受けました。「若竹の夢を見る」「突然泣き出す」などの子もいました。子どもにとっては、統合はすごく重かったようです。 潮見台小学校においては、量徳及び若竹と2年連続の統合となり、クラス編成や担任交代等、変化が大きく、ストレスが大きかったと思われる。発達障害を持つ児童も少なくなく、児童・教員ともに苦労が大きかったと思います。 校歌をすぐには覚える事ができなかった。低学年では音楽で指導するが、高学年では時数がとれなかったように思う。 個人差があると思うが、なかなか慣れない子もいると思う。学校のカラーが違い過ぎて、ストレスは大きいと思う。 4月から1学期いっぱい、情緒不安定な様子が見られました。 4月赴任のため、統合前の様子はわからないが、統合当初と比べ、特に変化は感じられない。
友人関係	<ul style="list-style-type: none"> 新しい出会いがあり、より気の合う友だちを見つけるなど、交遊の広がりが見られた。 統合当初はお互い遠慮がちだったのが、少しずつお互いを知り、認め合い、友だちになっていきました。統合前よりも友だちが増えて良かったと言っている子が多かったです。 学校行事を通じた活動により、友だちができたと思う。 統合当初は、それぞれの学校の結びつきが強かったようだが、1学期中に特に気がかりな様子はなかったように思う。 1学期末くらいまで、統合前の学校でそれぞれ遊ぶことが多かったように思われる。 今では慣れましたが、5月の遠足の座る場所を見ると、統合前の学校で分かれていました、表面上仲良くなったかなと思っていましたが、1か月ではムリだなと、その難しさを感じました。 1年では、高学年はなかなか交われない面があるように感じました。 入学以前に知り合い同士だったり、何らかのつながりがある子が多く、子ども同士は上手くいていたが、「若竹から来た子は」といった転校生的な空気があったのは、統合校ベースなことが原因だと思えます。 個人差があると思う。友人が増えた子もいるし、以前と変わらない子もいるようである。 統合によるものということではなく、その子その子のレベルでの人間関係であり、当然指導が必

観 点	回 答
	<p>要なケースもある。</p>
授業や学校行事における様子	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いなどの交流が活発となり、互いに高め合うよい刺激となった。 授業について、若竹の子は学力の高い子が多く、意識も高いと感じました。その良い影響は本校の子へもいったので、その点は良かったです。行事について、運動会は本校中心となり、若竹の良さをかせなかったように思います。低学年よさこいを若竹風にすることは、良かったと思いました。学芸会も、若竹伝統の「全校合唱」がなく、残念がっていた子が多かったです。 「若竹では…」という声も聞いたが、本校の児童として担任や友だちと楽しく学習していると思う。 前学年までのやり方が、他の子と全く違う場合、多少とまどいは見られますが、自分で「そういうものだ」と納得して頑張っていました。 6年生として活動する場面が多々あるが、前年度までの様子がわからない中で、6年児童には苦労や戸惑いが多かったのではないかと思います。 4月に比べて学校に慣れた様子は見られるが、行事の際などは、まだ戸惑いが見られる。 人数が増えたことによる影響は見られない。特に授業は、学校が変わる影響より担任が変わる影響の方が大きいと思います。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 2 学級になったことにより、「自分のクラス」という思いが強くなったと感じる。「となりのクラスより、今のクラスで良かった」等発言している。 保護者の声を聞くと、それぞれ若竹時代と統合後のメリットをとらえており、現状にも満足しているようです。 1 学期は、特に若竹小より来た子ども達が保健室によく来ていた気がします。やはり大きな学校で慣れるまで、色々な環境の違い等を口にする子もいました。現在は大分落ち着いています。 統合校中心となり「若竹まつり」「平和集会」などはできなかったため、若竹の子には寂しかった様です。全く新しい行事が何かできれば、子ども達にも新しい学校のイメージが描けたかもしれません。 校区が広がったので、行動範囲が広くなり、低学年は少し心配です。

質問3 若竹小学校との統合前や統合当初と比較しての皆さんの業務の変化について伺います。今回の統合で、ほぼ全ての学年で複数学級となり教職員も増えましたが、これらによる学級経営や学校行事及び特別活動の運営、校務分掌などへの影響について、良い点や課題と思われる点をお答えください。

(潮見台小学校のみ)

また、量徳小学校との統合時との比較が可能であれば、同じ観点からお答えください。(主なもの)

<p>「学級経営」については、複数学級で各学級 30 人以下であることから、合同での学習で手厚い指導ができる、学年で協力することで、生徒指導等で良い手立てを講じることができたとの回答がある半面、学級間の連携が不十分であったとの課題も寄せられている。</p> <p>「学校行事や特別活動の運営」では、人数が増えたことで児童に目を向ける時間が多くなった、様々なアイデアや経験が生かされ、効率的に業務が進んでいるといった回答が寄せられる一方、若竹小学校で行われていた行事を取り入れる工夫が必要であるといった反省や、校区が広がったことで集団下校時に担当者のやりくりしに苦心したという回答も寄せられている。</p> <p>「校務分掌」では、複数で分掌を担当することで、相談して取り組むことができた、職員数の増により、分掌を手厚く編制することができた、仕事量の軽減につながったなどの回答がある。</p> <p>また、子どもの戸惑いを招かないよう、学習規律や生徒指導を事前に摺り合わせる必要性や、前の学校の様子を知るためにも、若竹小学校に勤務していた教職員を多く異動させる必要性を指摘する回答も寄せられている。</p>
--

観 点	回 答
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> 学年経営としては、各学級 30 人以下の複数学級(4年生を除く)なので、合同での学習では手厚い指導ができる。 学年で協力することにより、生徒指導等でもより良い手立てを講じることができている。 高学年は特に子どもたち同士の交流が必要だと思い、試行錯誤をこらした。 全学年学級編成をし、4 月からスタートした。担任も全て替えた。それに伴い学級事務が忙しかったのは事実だが、結果的には良かったと思う。 児童数が増えたことで、学級増になった学年はいいが、人数だけ増え、学級数が変わらなかった学年は、大変だったと思う。 学級間での連携(相談、協力)が不十分。 量徳小との統合とは、かなり人数が違うので比較できない。子どもの様子はかなり違うので、児童の様子を見ながら学級経営を行った。

観 点	回 答
学校行事や特別活動の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人が増えた分、目が多くなったり、業務が減ったのは、その分子どもに目を向ける時間が多くなったので、良かったです。 ・ さまざまなアイデアや経験が生かされ、効率的に業務が進んでいる。 ・ 半数近い児童が新しい行事に取り組むので、多少の混乱が見られた。来年度からは、もうすこしスムーズに進むと思われる。 ・ 担当者の人数は増えたが、その分指導する児童数も増えているので、負担は変わっていないと思う。 ・ 若竹小で行われていた行事を取り入れるなどの工夫 ・ 集団下校では範囲が広がり、担当者のやりくりが苦心した。
校務分掌	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数で持つことができるようになり、相談して行うこともでき良かった。 ・ 職員数が増えたことにより、分掌を手厚く編制できました。 ・ 教師の人数が増えた分、受け持つ分掌の数は減ったが、内容が濃かったりするので、負担はそれほど変わらないと思う。 ・ 集団下校や通学路の安全確保が今後の課題。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担任、学校等が変われば方法も変わりますが、学習規律や生徒指導等、指導の基本となる部分があまりに違いすぎると、子どもの戸惑いを招くことになります。この点が課題であると思われます。 ・ 統合になったからと特別意識はしなかったが、前の学校の様子を知るためにも、若竹の先生をたくさん入れるような配慮がほしかったです。 ・ 若竹小から来てくださった先生のおかげで、児童、保護者対応で助かることがとても多かったです。 ・ 親同士の交流が地域で固定されているかも…。

質問 4 小樽市教育委員会では、新しい学校づくりを念頭に学校再編を進めています。学校再編や今回の統合についてご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。（主なもの）

- ・ 統合前(1年前をめどに)にそれぞれの学校で学習規律等のすり合わせを進めておくことも大事だと感じました。今回もやっていた部分はありましたが、スタートしてみると、それらの違いが、子どもたちや保護者には大きなものであったように思います。
- ・ 広く新聞や広報で、お知らせする機会を増やすと良いと思います。
- ・ 児童の減少などで統合はやむなしと考えるが、現在通学している子ども達に不便や負担をかけることは、好ましくないと思う。
- ・ 事前の交流が行われていたと聞きます。4月に着任した時、私には統合前の学校の区別はつきませんし、特に感じませんでした。とても大切だと思います。
- ・ 統合して複数学級となることをメリットとするなら、40人ぎりぎりでも特例なので2学級にすべきだと思います。スクールカウンセラーの配置、回数を多くすることを望みます。新しい学校だから前のことを忘れる、それは前のこと…、という考え方は子ども達がかわいそうです。前の学校のことを口にしやすい雰囲気づくりが大切だと思います。統合校に思い出コーナーみたいなものがあったらいいと思います。
- ・ 統合する時は、閉校となる学校からは、ある程度の職員を配置した方が良いと思う。(はじめての学校で知っている先生もいない不安は大きいと思うので。)あくまで転校ではなく、統合だという面で、先生が1人しかいないのでは弱いと思う。
- ・ 量徳の時もそうだったが、「新しい学校」とは感じない。やはり校舎が同じで潮見台の子が多数なので、若竹の子にとっては、転校生の気分だったと思う。先生方は意識を変えたつもりではいたが、やはり「去年は…」となってしまうように思う。
- ・ 保護者から、「お母さん方の輪に入りづらい。たぶんこのままたいして仲良くもならず終わってしまうんだな」と言われた。子ども以上にお母さん方の統合による学校(PTA)のつながりは寂しくなる。保護者のケアについても、もう少し何らかの工夫や努力が必要。
- ・ 要望は既に提出しているが、通学路の安全に向けて、よろしく願います。
- ・ 統合における施設の整備や教育機器等の教材教具の充実も、新しい学校づくりで果たす役割が大きいものとする。
- ・ 2回の統合を経て、いかに保護者、児童の心に負担がかかっているのか実感することができた。委員会にはそのことを十分受け止めて業務を進めほしい。